歴史と自然のストック、京都御苑の魅力を発信

京都御苑 NEWS

Kyoto Gyoen National Garden News

spring 春
第129号
2016.3.1
京都御苑ニュース

CONTENTS

▶閑院宮邸跡10周年によせて
▶春の鼓動
▶御苑の魅力に惹かれて
▶学生コラム
▶Information

満開のオオシマザクラと閑院宮邸跡東門

閑院宮邸跡10周年によせて

京都御苑南西角に位置する閑院宮邸跡は、平成十五年から三ヵ年をかけて全面的な改修と周辺整備が行われ、平成十八年に竣工した。来苑者が京都御苑の歴史と自然に触れる人気のスポットとなっている。

田村省二

京都市営地下鉄・丸太町駅の一番出口を出ると、東山の緑がきれいに望まれます。そのまま、防火用のウバメガシが茂る土塁に沿ってしばらく歩くと、御苑への入口のひとつの間ノ町口に至ります。ここを入ってすぐ左側に大きな門（東門）があり、その内側が閑院宮邸跡です。

さて、閑院宮とは、どんな方だったかご存知でしょうか？　広辞苑（第六版）を見ると「四親王家の一つ。東山天皇の皇子直仁親王に始まる。新井白石の建議に基づき、将軍家宣の上奏により、一七一〇年（宝永七）創立。一九四七年まで七代にわたり存続した」とあります。天皇系図を見ると、直仁親王から八代あとの今上天皇まで、まっすぐ繋がっている

ことが分かります。

この閑院宮邸は、明治十年まで使用されていました。その後は華族会館や裁判所として使用され、明治十六年には旧宮内省京都支庁が置かれました。東門の正面にある現在の建物は、宮内省の支庁開設の際に新築されたものですが、百年以上の歳月を経て老朽化が著しかったため、十年前に大改修されました。その際、京都御苑の歴史や自然についての情報提供機能が充実され、また、周囲のお庭も修復されました。

大改修前のことですが、京都迎賓館の建設計画が検討される中で、閑院宮邸の建物は、代替施設のグラウンドを整備する計画が持ち上がり、一時は解体されるかもしれませんでした。しかし、建物の歴史的価値を重んじる専門家の意見を尊重し、修復・保存することになりました。

近年、全国的に訪日外国人（インバウンド）で観光地はにぎわっていて、京都御苑も例外ではありません。移り変わる時代・状況の中で、京都御苑の自然や歴史を外国の方にも良く理解していただくために、これまで同様、御所透かしをはじめとする庭園管理やユニバーサル・デザインの取り組みをしっかり行いつつ、多言語化対応を進めたいと考えています。

そもそも、京都御苑が地元の方々に愛されてこそ、管理が上手く行えます。年の初めは、不審庵の初釜に招かれ、千宗左様のお点前を頂戴し、大変感激しました。御苑の周辺も歴史・文化が隙間なく詰まっていますので、ご近所づきあいをこれまで以上に積極的に展開したいです。

先の大戦を挟んで、京都御苑の管理は、環境省（旧厚生省）が行うことになりました。職員は、技術系と事務系の二種に分けられますが、技術系職員はもっぱら全国の国立公園の管理を担当するレンジャーです。我が国の優れた自然の風景地を管理する特技を生かして、京都御苑の管理を充実させたいと思います。

（環境省京都御苑管理事務所所長）

庭園から望む閑院宮邸跡収納展示館

京都御苑四季の自然教室の講師を長年務め、鴨川での野鳥観察が日課という西台律子さん。御苑の鳥たちの春を語る。

御苑・いのちの風景・新しい命

春の鼓動

西台律子

①喉の橙色が鮮やかなキビタキのオス

「ツクツクボウシ、ツクツクボウシ」という軽やかな声が苑内に響き渡ります。春にツクツクボウシの声の主を探すと、「ティリリリ、チーチョホイ、チーチョホイ……」などと続けて美しい声でさえずるキビタキのオス（写真①）が見つかるでしょう。春はメスを呼び寄せるラブコールでしたが、伴侶が決まり子育てが始まると、縄張りを主張する声ともなります。「ブーンブンブン」という声も聞こえてきます。スズメバチのように聞こえたのは、オスどうしの縄張りやメスをめぐっての争いの鳴き声です。「ピッ、ピッ」と鳴くこともあります。メスの体色は緑褐色の地味な色です。キビタキは、苑内では六年間繁殖に成功し、新しい命が育ちました。

キビタキは、春にフィリピンやインドネシアなどの東南アジアから日本へ渡ってきて繁殖し、十月ごろまで日本に滞在する夏鳥です。夏鳥では、キビタキの他にコサメビタキも五年間繁殖に成功し、ヒナも無事に巣立ちました。

コサメビタキ（写真②）は、「チィーチリリリリリチョピー

中立売休憩所市民ギャラリーのレギュラー出展者である
菊地さんのフォトアルバム

「苑内利用者の声」
御苑の魅力に惹かれて

菊地祥夫

古都・京都の中心にある御苑には野鳥などの動物が自由に生息し、四季折々の風情を花々や樹々の植物が彩り、爽やかな風が通りすぎる時空間を満喫することができます。

仕事柄、休日の朝しか時間がとれないのですが、その魅力に惹かれ、カメラ片手に足繁く訪れています。

御苑は、一歩足を踏み入れると、都会の喧噪を忘れさせてくれる静寂の中に動植物が織りなす自然美と広く美しい公園や御所の築地塀などの造形美が見事に融合する世界が広がり、魅力的でこころ安らぐ憩いの場です。

春の訪れと共に、動植物が息吹き、躍動し、鳥がさえずり、飛び交い、新緑やたくさんの花々が自慢げにその美しさを競います。

五感をとぎすませ、いのちの鼓動を肌で感じ、一瞬の感動を体感してみませんか!?

学生コラム

閑院宮邸跡の縁側でひとやすみ

平安女学院大学国際観光学部3回生
team 松　天満屋 奈央

閑院宮邸の立派な玄関を入って展示を見ながら順路通りに進むと、南の縁側にたどり着きます。私たちが訪れた日は天気もよく、縁側で休んでいる人がいました。それを見習うように、私たちも少しの時間、縁側でひと息ついていました。目の前には池のある庭園があり、背の高い木々にも囲まれて、都会の喧騒を忘れられる気持ちのいい場所です。縁側から入る別の部屋にある鏡床も見どころです。床に映る木もまた美しいものです。庭園を奥へ進むと、緑に囲まれ小川も流れている、また別の庭園が現れます。地面にかつてあった建物の部屋だった場所が示されてあり、どんな人がこの庭園を見ていたのかなと想像する楽しさがありました。

リリリリ」などと細い声でさえずりますが、他の鳥の鳴き声を真似ることもあります。地鳴きの「ツィー」という声は他の小鳥より鋭い感じがします。オスとメスは同色で目の回りの白いアイリングが特徴です。キビタキやコサメビタキの親鳥は、チョウ・ガの成虫や枝葉につく幼虫、アブ、ハチ、アリ、クモなどの虫をヒナに与えます。

また、アオバズクは、三十年以上御苑内で数組が子育てに成功しています。ハトくらいの大きさで、春から初夏の夜に「ホホッ、ホホッ……」とメスとオスが鳴き合い、寄り添う姿（写真③）も見られるようになります。アオバズクの親鳥は、ヒナにガ類の成虫を与える割合が多く、次にクワガタムシやコガネムシなどの甲虫類を与える割合も多くなっています。小鳥やアブラコウモリなどを与えることもあります。セミが鳴き始めると、与える餌の中心はセミへと移行していきます。巣立って三週間もすると自分でアブラゼミなどの餌を捕ることができるようになります。

昆虫の幼虫は、主に植物の葉を食べ、成虫は花や樹液にも集まってきます。御苑で子育てをする多くの野鳥にとって昆虫は大切な食料となります。遠路はるばる渡ってきて、山間部ではなく御苑を繁殖地に選んだ夏鳥たちは豊富な餌に引き寄せられたのでしょう。一年を通して苑内で見られる留鳥たちにとっても御苑は新しい命を育むための魅力あふれる地なのです。新しい命の鼓動を支えるために御苑の多様な自然は大きな役割を果しているといえます。

（京都自然観察学習会）

②ヒナにガの幼虫を運ぶ
コサメビタキ

③寄り添うアオバズクのつがい

■イベントのお知らせ

京都御所春季一般公開

恒例の春の御所一般公開です。期間中は申し込みなしで参観できますのでこの機会にぜひお出かけください。

期　　間：平成28年4月6日（水）～10日（日）
入門時間：9:00～15:30
入　　口：宜秋門
出　　口：清所門（最終退出時間16:15）
お問合せ：宮内庁京都事務所　☎075-211-1211

提供：宮内庁京都事務所

京都御苑春の自然教室

―春の御苑にふれよう―
初めての方大歓迎！の自然観察会です。
京都の街中の貴重な緑の御苑で、春の自然を見つけに来ませんか。

日　時：平成28年4月17日（日）9:30～12:00
集　合：乾御門（京都御苑北西角　地下鉄今出川 市バス烏丸今出川 徒歩5分）
受　付：当日9:00～9:20
講　師：京都自然観察学習会の先生方
内　容：春の御苑内の草花、キノコ、虫や鳥の生活を観察します。
参加費：100円（保険代）
主　催：環境省京都御苑管理事務所
（一財）国民公園協会京都御苑
その他：筆記用具を持参、ルーペ・双眼鏡など観察用具があると便利です。雨天時の準備、野外活動に適した服装でご参加ください。

新緑のトンボ池一般公開

自然生態系の保全のため普段は立入りを制限している「トンボ池」を期間限定で公開します。カエル、トンボ、チョウなどトンボ池の自然を観察しましょう。多くの方のご来苑をお待ちしています。

日　時：5月20日（金）～22日（日）9:30～15:00
場　所：京都御苑内トンボ池（富小路口から北東へ徒歩5分）
参加費：無料
主　催：環境省京都御苑管理事務所

■苑内利用施設・サービスのご案内

閑院宮邸跡収納展示館

京都御苑南西角の旧閑院宮邸跡地に建つ公家屋敷の面影残る官庁建築の遺構で、収納展示室では京都御苑の歴史や自然のあらましが学べます。中庭を巡る回廊やレクチャーホールもあり、御苑マップや苑内の見どころなど旬の情報を提供しています。

開館時間：9:00～16:30（入場は16:00まで）
休 館 日：月曜日（祝日は開館）、年末年始
定時ミニガイド：11:00～、13:30～、15:00～
アクセス：間ノ町口（京都御苑西南角　地下鉄丸太町 市バス烏丸丸太町 徒歩5分）

拾翠亭（しゅうすいてい）（茶室）

五摂家の一つであった九條家の遺構で江戸時代後期に建てられた別邸。参観や茶会などにご利用ください。

参　観：毎週金・土曜日、葵祭・時代祭・京都御所一般公開日　9:30～15:30
参観料　100円（高校生以上）
利　用：茶会、句会、謡曲等の会合にご利用できます。参観日、年末年始を除く毎日 9:00～16:00　利用料　12,000円～
申し込み：国民公園協会京都御苑

休憩所

営業時間：9:00～16:00（ラストオーダー）
中立売北休憩所（御苑西側中立売御門北すぐ）
食堂、売店（京土産）、ギャラリー。3月下旬からさくらおこわなど「春彩ごはん」始めます！
中立売南休憩所（御苑西側中立売御門南すぐ）
軽食・喫茶、売店（京土産）
富小路休憩所（御苑南東富小路口すぐ、テニスコート隣接）軽食・喫茶、菓子等の販売

駐車場

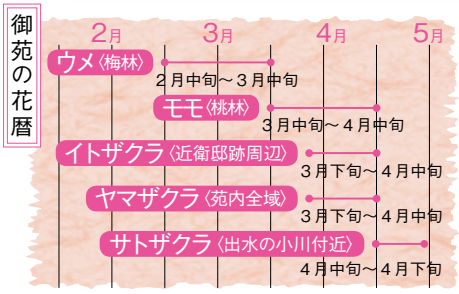
料金：乗用車500円 バス1,300円（最初の3時間）
中立売西駐車場（乗用車、バス）
乗用車252台　バス駐車可
入場　7:40～19:30　出場　24時間
清和院東駐車場（乗用車専用）
乗用車81台
入・出場　8:40～20:00（20:00以降閉鎖）

運動施設

富小路テニスコート（5面）　有料
富小路／今出川広場（軟式野球・ソフトボール専用）　有料
申し込み・お問合せ：国民公園協会京都御苑

京都御苑さくらマップ

御苑の花暦



会員募集（平成28年度）のお知らせ

平成28年度（平成28年1月～12月）の国民公園協会京都御苑会員を募集します。

■ 年会費
- 普通会員……　1,000円以上
- 賛助会員（会社・団体）……10,000円以上

■ 会員特典
1 京都御苑ニュースの送付
2 葵祭及び時代祭の招待券の進呈（ただし普通会員は会費4,000円以上の方に限ります。）

■ 申し込み・お問合せ先
（一財）国民公園協会京都御苑

編集後記

昭和59年から発行の『京都御苑ニュース』を今号より誌面デザインを一新、全体的にビジュアル化を図り、読みやすさを工夫しました。今まで同様皆様のご愛読をお願いいたします。　（発行人　池田善一）

発行・お問合せ先
一般財団法人国民公園協会京都御苑
〒602-0881　京都市上京区京都御苑3
TEL　075-211-6364

編集	監修
白川書院	環境省京都御苑管理事務所

VEGETABLE OIL INK　R70 古紙配合率70%再生紙を使用しています